

野生鳥獣被害防止対策事業について

自然保護課

1 事業の目的

野生鳥獣の適正な保護管理を図るため、イノシシ等の出没情報収集・提供システムを整備するとともに、捕獲の担い手の確保・育成や、地域におけるツキノワグマ被害防止活動への支援を行う。

2 事業の概要

(1) 特定鳥獣捕獲・被害防除対策事業 9,207千円

センサーカメラによるイノシシ及びニホンジカの出没情報の収集・提供システムを整備し、捕獲するほか、ツキノワグマによる被害防止のため自主的な集落環境診断実施への支援を行う。

① 出没情報収集・提供システムの整備

- ・内 容：送受信可能なセンサーカメラ50台の設置
- ・設置箇所：湯沢市ほか

② 指定管理鳥獣の捕獲

- ・内 容：わなや銃猟によるイノシシ及びニホンジカの捕獲
- ・実施箇所：県内全域
- ・実施時期：狩猟期間中（11月1日から翌年2月15日まで）

③ 地域ぐるみのクマ被害対策支援

- ・内 容：自主的な集落環境診断の実施を促進するため、モデル地区で講習会を実施し、地域リーダーを養成
- ・実施箇所：鹿角市、能代市、大仙市

④ (新)先進的防除技術の実証

- ・内 容：ベアドッグを活用したクマの追い払いについての実証試験

(2) 担い手確保・育成事業 7,882千円

狩猟免許等の取得支援や捕獲技術の研修会の開催等により、担い手の確保・育成を図る。

① 狩猟免許等の取得支援

- ・内 容：対象経費の10/10以内を助成
 - 狩猟免許等取得支援（上限5万円、対象者数50名）
 - 散弾銃等購入支援（上限5万円、対象者数40名）
 - ライフル銃等購入支援（上限7万円、対象者数5名）

② 集団捕獲の担い手育成研修

- ・内 容：狩猟免許の新規取得者及び取得予定者を対象に、集団捕獲に関する講義、銃器を使用した捕獲実習を開催
- ・実施箇所：県北、中央、県南地区（各地区15名程度）

③ (新)スラッグ弾実技講習

- ・内 容：大型獣の捕獲に用いるスラッグ弾の実技講習を開催
- ・開催時期：令和2年10月

④ 市町村の野生鳥獣担当者研修

- ・内 容：野生鳥獣対策を担当する市町村職員の専門的知識を深めるための研修を開催
- ・開催時期：令和2年10月

⑤ (新)狩猟技術訓練施設オープン記念射撃訓練大会

- ・内 容：射撃技術の向上と、県民に対し狩猟への関心を高めるための射撃訓練大会を開催
- ・開催時期：令和2年9月下旬

⑥ 罾による捕獲技術研修

- ・内 容：罾によるイノシシ等の捕獲を推進するため、捕獲技術研修を開催
- ・実施回数：2回

(3) 普及啓発事業

2,632千円

狩猟の魅力を発信するフォーラムを開催するほか、クマによる人身被害を防止するための読本を作成し、周知を図る。

① 「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」の開催

- ・内 容：基調講演、狩猟模擬体験、ジビエ料理試食等

② クマによる人身被害を防止するための読本の作成

- ・内 容：生態や遭遇時の対処法等についての読本を作成し、県内の全小中学生に配付及び一般県民向けの出前講座等に活用
- ・制作部数：10万部

(4) 生息調査事業

3,225千円

生息数及び生息域が拡大している第二種特定鳥獣等の生息状況を調査する。

① ニホンザル生息調査

- ・内 容：群れ行動調査、分布状況の把握（目視調査）
- ・場 所：大館市、北秋田市

② カモシカ生息調査

- ・内 容：分布状況の把握（聞き取り調査）
- ・場 所：県内全域

③ （新）カワウ生息調査

- ・内 容：コロニーの分布、営巣数、個体数の把握
- ・場 所：県内3流域（米代川・雄物川・子吉川）
- ・実施時期：5月、7月、11月（東北6県で時期を統一）

(5) 狩猟技術訓練施設整備事業

123,373千円

県立総合射撃場内に、猟銃所持者の技能を維持・向上させるための狩猟技術訓練施設を整備し、管理運営する。

① 施設整備

- ・工事内容：舗装工事、看板設置等
- ・予 算 額：106,000千円
- ・工事期間：令和2年4月～7月

② 管理運営等

- ・内 容：指定管理料等
- ・指定管理者：(一財)秋田県総合公社
- ・予 算 額：17,373千円

3 予算額

146,319千円